

駅伝

近隣
散策

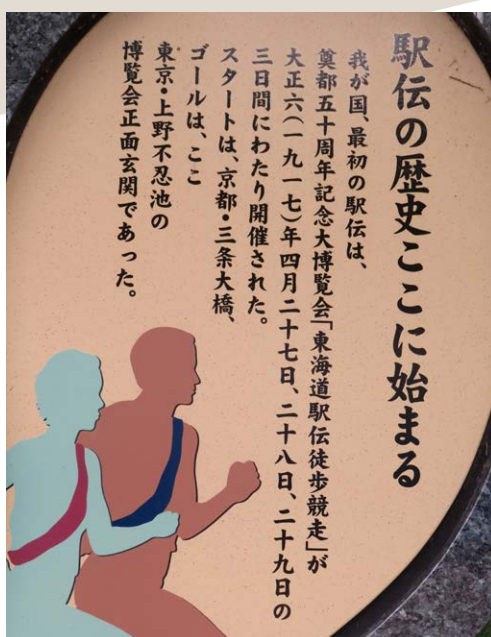


写真1 駅伝発祥の地の碑

東京・上野恩賜公園の不忍池の畔に「駅伝の碑」が建っている。

これは、同地が1917（大正6）年に日本で初めて競技として行われた駅伝である「東海道駅伝徒歩競走」のゴール地点であったことを記念して、2002（平成14）年に建立されたものである。

もちろん、スタート地点であった京都・三条大橋にも同様の碑が建立されている。

この、京都→東京のルートは、明治維新の際に江戸が東京に改称され、東の都として定められてから50年後の「^{てんと}奠都五十周年記念大博覧会」のイベントの一つとして、明治天皇が京都から東京に移動なさったルートを再現しようという発想によるものである。開催に当たり、東海道五十三次の駅伝制（駅馬・伝馬制）からヒントを得て「駅伝」と名付けたらしい。

現在、駅伝といえば、箱根駅伝が有名である。箱根駅伝は「東海道駅伝徒歩競走」から3年後に、箱根の閑散期である2月に集客を目的として始まった。その後、学校が休みであり、東京・箱根の交通量が少ない期間である1月に開催日を移し、既に100周年を迎えている。

いまや日本の正月の風物詩となっている。

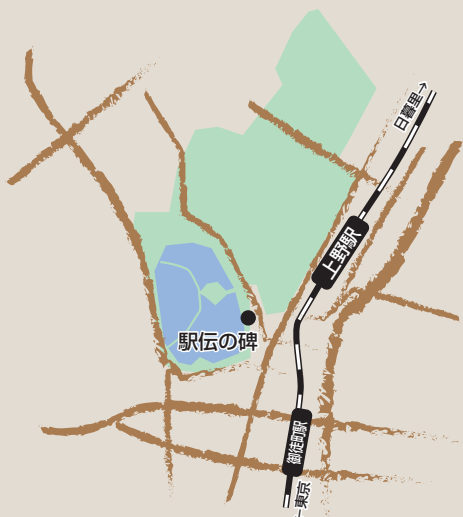


写真2 不忍池の畔に建つ「駅伝の碑」

<参考>

○東京とっぴ「駅伝の碑」

<https://tokyo-trip.org/spot/visiting/tk0715/>

○日本文化研究ブログ「駅伝の意味と発祥とは？なぜタスキなの？距離は何キロ？山の神って何？」

<https://jpn-culture.net/ekiden/>

○JBpress「なぜ、東京が「首都」になったのか？新政府最初の大事業の真相

<https://jbpres.ismedia.jp/articles/-/67165>